

新たな計画の特徴等について

	今までの計画	新たな計画
計画	沖縄振興計画(平成14～23年度) 【国が策定する計画】	新たな計画(平成24～33年度) 【21世紀ビジョン将来像の実現を目指し、県が主体的に策定する計画】
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ●民間主導の自立型経済の構築 ●フロンティア創造型の振興策 	<ul style="list-style-type: none"> ●強くしなやかな自立型経済の構築 観光、情報に次ぐ第三第四のリーディング産業の創出と地場産業の活性化 ●沖縄らしい優しい社会の構築 自然、伝統、文化の保全・継承、安全・安心な暮らし、交流と共生、人材育成
目標	<ul style="list-style-type: none"> ●自立的発展の基礎条件整備 ●特色ある地域として整備 	<p style="text-align: center;">沖縄21世紀ビジョンの将来像実現及び4つの固有課題の克服</p>
主要施策・主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ●教育、医療、交通、水道、農林水産基盤等、生活産業基盤の整備 ●離島架橋・離島空港整備 ●沖縄都市モノレール ●沖縄工業高等専門学校 ●沖縄科学技術大学院大学 ●県立博物館・美術館 ●南部医療センター等 ●質の高い観光・リゾート地の形成 ●情報通信関連産業の集積 ●地域を支える産業の活性化 ●雇用の安定と職業能力の開発 ●科学技術の振興と国際交流・協力の推進 <p>3次の振興開発計画における「本土との格差是正」を目標とした社会資本整備中心から、産業政策を主要なテーマとして基軸を設定</p>	<p style="text-align: center;">生活基盤・産業基盤整備の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> *那覇空港滑走路増設 *国際線ターミナルビル、基幹道路網、中南部基地跡地等の整備 *鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入 *空手道会館等 <p style="text-align: center;">強くしなやかな自立型経済の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主要施策案 <ul style="list-style-type: none"> *国際物流拠点の形成(那覇空港、那覇港の整備) *交通・物流コストの低減 *国際的な観光リゾート産業や情報通信産業の振興 *駐留軍用地跡地の有効利用 <p style="text-align: center;">沖縄らしい優しい社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●主要施策案 <ul style="list-style-type: none"> *子どもが健やかに育つ島づくり *子どもが健やかに育つ島づくり *子どもが健やかに育つ島づくり *災害に強い島づくり *チャーガンじゅうの島づくり *エコアイランド沖縄の形成 *ウチナー文化の躍動等
関連制度	<p>高率補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ●揮発油税・酒税の軽減 ●沖縄振興開発金融公庫 ●経済振興地域制度(観光、情報、産業高度化等) ●航空機燃料税の軽減 ●軍転特措法 	<p>一括交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> ●継続要望 ●拡充要望 <p style="text-align: center;">新規要望</p> <p>国際物流経済特区、交通・物流コスト低減策、沖縄観光振興制度、産業イノベーション制度 国際物流経済特区、総合的離島振興制度、子育て支援制度</p> <p>駐留軍用地跡地利用推進法(仮称)等</p>
沖縄振興策の背景	<p style="text-align: center;">特殊事情</p> <ul style="list-style-type: none"> *沖縄が26年余りにわたり我が国の施政権の外にあった歴史的事情 *広大な海域に多数の離島が存在し本土から遠隔にある地理的事情 *我が国でも稀な亜熱帯地域にあること等の自然的事情 *米軍施設・区域が集中しているなどの社会的的事情 	<p style="text-align: center;">新たな背景</p> <ul style="list-style-type: none"> *アジアのダイナミズムを取り入れ、我が国の成長の一翼を担う地域としての発展可能性